

## 地域連携による震災時避難所運営訓練

長井連合町内会・長井地域運営協議会・長井防火防災クラブ  
 地元医師・市議会議員・消防団など防災関係者の連携

### 地域自立型の避難所運営を目指して

主催：長井地域運営協議会・長井小中避難所運営委員会

長井小学校では令和5年9月10日（日）に地域の町内会の役員を中心として、約100名が参加し震災時避難所運営訓練が行われました。

訓練では、震災後に小学校に到着した想定で、正門の開錠方法から防災収納庫の開錠説明を行い、避難所に必要な資機材の説明が行われ、体育館の安全確認を行った後、体育館に町内会別に集合して避難所の運営に必要な知識啓発を行うものでした。

体育館では、4グループに分かれ、それぞれのブースで以下の説明が行われました。

- 1 居住スペースの区割り
  - 1) 避難所の開放区域の説明
  - 2) 収容の基本ルールの説明
  - 3) 収容可能人数の説明

#### 4) 基本的なルール作り



#### 2 トイレの設置・照明の確保

- 1) 備蓄品の保管場所確認
- 2) 備蓄品の総量
- 3) トイレの使用方法説明
- 4) 発電機・投光器使用方法の説明



#### 3 食料・水の配布・備蓄倉庫の場所紹介

- 1) 備蓄食料の保管場所確認
- 2) アルファ化米試食
- 3) 毛布の展示
- 4) 自宅備蓄必要性の啓発



#### 4 避難者班の編成・避難者カード配布

- 1) 情報収集連絡票の記入
- 2) 避難者カードの記入
- 3) 避難時駐車場の説明
- 4) 備蓄倉庫の見学



訓練終了後は防災部会員で反省会を行い、今後の避難所運営の課題を共有し、特に仮設トイレの設置について変更が必要だと論議されました。

この訓練では、講師を防災部会員である町内会役員、地元医師、長井地区防火防災クラブ員、地元市議会議員などが務め、地域の防災力が集結された訓練内容でした。避難所の支援にあたる市職員も14名参加しましたが、地域の防災力の高さに関心している様子でした。

# 震災時避難所を拠点とした災害時要援護者の対応訓練

## 【地域防災力と公助の連携（横須賀モデル）】

～ **タスキ** でつなぐ要援護者の支援（大津町4丁目町内会）～

横須賀市では平成21年から災害時要援護者支援プラン（以下、「支援プラン」という。）を策定し、地域による災害時要援護者（以下、「要援護者」という。）の支援を推進してきましたが、地域の少子高齢化や新たな感染症による生活様式の変化など、従来の支援プランでは対応が困難な事案が多くなり、それらの課題を解消するため、改めて地域防災力の連携による取り組みを推進する必要があります。

特に災害時に避難の支援が必要な人に対応するためには、これまで以上の地域連携の強化が重要となるため、大津町4丁目町内会では地域防災力と公助の連携による、災害時要援護者訓練を取り組みました。

### 1 主な役割分担

- (1) 町内会・自治会（自主防災組織）、民生委員・児童委員、社会福祉推進委員  
要援護者の安否確認及び在宅避難の支援
- (2) 市職員（避難所支援班員）、消防団員  
要援護者の避難誘導及び在宅避難の支援

### 2 訓練内容

- (1) 要援護者名簿の確認と安否確認班の編成



町内会・自治会長や民生委員・児童委員が中心となって、要援護者名簿をもとに安否確認を行う班を編成して安否確認簡易計画を作成する。

- (2) 要援護者の自宅を訪問し安否確認



自主防災組織員1名と社会福祉推進委員2名で編成した安否確認班で、安否確認を実施する。

(3) 要援護者の対応種別の判定と対応策の明示

ア 自宅への被害や負傷等がなく、支援の必要のない方

黄色のタスキを見えやすい場所に掲示する。



イ 自宅に被害はなく在宅避難が可能であるが、行動が不自由で水や食料の支援が必要な方

水や食料の支援が必要な方は青色のタスキを見えやすい場所に掲示する。  
〔市の職員やボランティア等が救援物資などを届けます。〕



ウ 自宅に被害があり在宅が危険である方、または、負傷等により救護が必要な方

避難所への避難が必要な方は赤色のタスキを見えやすい場所に掲示する。  
〔市職員や消防団等が避難誘導を行います。〕



(4) 町内会館で安否確認の集計結果を民生委員・児童委員に報告



安否確認の結果を民生委員（町内会長等でも良い。）に報告し、民生委員は情報を整理します。

(5) 大津小学校に参集している市職員と消防団員に避難誘導の依頼



震災時避難所に参集している市職員と消防団員に、要援護者の避難誘導を依頼します。  
〔市職員と消防団員で避難誘導班を編成します。〕

## (6) 市職員と消防団員による避難誘導

安否確認班の案内により、市職員と消防団員は要援護者の避難誘導を行います。  
避難誘導の際は**赤色のタスキ**を外します。



市職員と消防団員は協力して、震災時避難所への避難誘導を行います。

## (7) 避難所運営委員会により学校保健室（一次福祉避難所）へ誘導



避難所到着後に避難所運営委員会に引き継ぎ体育館に避難します。

避難所運営委員会により要介護が必要と判断され、避難所に設置される一次福祉避難所へ移動します。



### 3 訓練を終えて（大津町4丁目 鈴木会長のコメント）

自主防災組織が一丸となり活動したことで、より一層住民間の連携が深まり、要援護が必要な方々への関心が高まり、共助と公助の連携の必要性を感じた。

また、普段より防犯防災部会（自主防災組織の中核）が月一回の防犯パトロールを実施していることが、今回の訓練活動を円滑にしている一因と考えると、日常活動がいかに大切であるか実感した訓練であった。

## 夜間での震災時避難所運営訓練

～夜間突然グラッと来たら（大矢部小学校避難所運営委員会）～

- 地震災害は、時間帯や場所を問わず、突然襲ってきます。

それを踏まえて、大矢部小学校避難所運営委員会では、夜間に震災が発生した場合を想定して、夜間訓練を実施しました。

夜間にもかかわらず、町内の自主防災組織・民生委員・体育振興会・住民の方々など約 80 名が参加されました。

一時避難地からの集団避難を経て小学校に参集した後、被害状況の確認や避難所運営の各活動班の活動、器材の取り扱いなどを体験しました。

夜間の対応は、日中に比べ、避難や作業が各段に困難になるため、地域連携が特に重要になります。

- 大矢部小学校避難所運営委員会では、平成 27 年（2014 年）に結成して以来、様々な訓練を取り入れてきました。

令和 3 年（2021 年）には、ペットを連れての同行避難訓練やペットボランティアによる講話研修を行いました。

震災時には、ペットと一緒に避難所へ同行避難を行い、指定の仮設テントなどにペット用のゲージを置いて、飼い主の責任で飼育管理することになります。

平常時から、家庭で飼われているペットの避難についても、目を向けて準備をすることが大切です。

### 大矢部小学校避難所運営委員会 君島さんのコメント

平成 24 年ごろに町内会長からの依頼で、**女性の意見を避難所に反映**させてほしいとの要望もあり、**民生委員の立場**で委員会に携わり始めました。

避難所に携わり感じたことは、直ぐには結果や成果は出ないため、継続的に参加できる方を交えて、計画的に訓練や備蓄品などの内容を話し合っていくことが必要だと感じました。

また、一緒に活動しているメンバーで、他校の訓練に参加や見学をしている方がいて、その方に他校の情報を提供してもらい、大いに参考になりました。

今後も毎回テーマを決めて、他の団体を交えて、幅広い連携を図っていきたいと思います。

皆さんの地区でも、様々なケースを訓練に取り入れて、地域防災力の向上を目指してはいかがでしょうか。



# 大矢部小学校 震災時避難所運営訓練

大矢部小学校  
避難所運営委員会

令和5年度 (10/8訓練)

大矢部・大矢部4丁目・佐原

みどり野・佐原コスモ 連合



## 第9回 初めての夜間 避難所運営訓練



- 第1回 行政指導による基本的な避難所開設訓練 (H26年)
- 第2回 委員会発足 第3回 豚汁・アルファ米炊き出し
- 第4回 夏の給水訓練 第5回 レトルトカレー炊き出し
- 第6回 赤十字講話 第7回 ペット避難所開設講話
- 第8回 感染症マニュアル研修 (R2年は中止)

- 総務 大矢部町内会
- 情報広報 大矢部4丁目町内会
- 食料物資 佐原町内会
- 環境衛生 佐原コスモ自治会
- 救護福祉 みどり野自治会
- 警備 体育振興会



# 大矢部小学校避難所委員会のこれまで

大矢部町内会・大矢部4丁目町内会・みどり野自治会・佐原町内会・佐原コスモ自治会

平成25年に避難所マニュアルが完成しその後、力を合わせて様々な訓練をしてきました。

## 平成25年 マニュアル完成



平成24年 森崎小マ  
ニュアル完成

森崎小マニュアルを参  
考に委員会にて検討

平成26年

市の指導で避難所開設  
基本訓練を開催し、翌  
年委員会を発足

## 平成29年夏の訓練



地震はいつやってくるか？わかりません。

寒い時？暑い時？朝？夜？豪雨？大雪？

暑い夏の盛り、8月19日に訓練開催

水道局による、給水訓練をしました。



## 平成30年レトルトカレー炊き出し



大釜にプロパンガスで  
お湯を沸かし、カレー  
を湯煎しました

## 令和3年 コロナ感染拡大！少人数で ペット避難所開設講話

マリンちゃん



各町内自治会で  
居住スペース作り

## 令和元年 赤十字による講話

